



令和6年9月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

令和6年2月14日

上場会社名 KLASS株式会社 上場取引所 東
 コード番号 6233 URL <https://www.klass-corp.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 頃安 雅樹
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長 (氏名) 曾谷 雅俊 TEL 0791-62-1771
 四半期報告書提出予定日 令和6年2月14日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 令和6年9月期第1四半期の連結業績（令和5年10月1日～令和5年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
6年9月期第1四半期	2,201	1.7	△33	—	△37	—	△35	—
5年9月期第1四半期	2,164	△2.8	25	△34.0	20	△34.5	1	△91.3

(注) 包括利益 6年9月期第1四半期 △31百万円 (ー%) 5年9月期第1四半期 4百万円 (△76.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
6年9月期第1四半期	△6.62	—
5年9月期第1四半期	0.23	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
6年9月期第1四半期	10,041	2,829	28.2
5年9月期	10,575	2,915	27.6

(参考) 自己資本 6年9月期第1四半期 2,829百万円 5年9月期 2,915百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
5年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
6年9月期	—	—	—	—	—
6年9月期(予想)	—	0.00	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 令和6年9月期の連結業績予想（令和5年10月1日～令和6年9月30日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,000	11.2	370	17.8	365	28.6	250	144.4	46.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	6年9月期1Q	5,391,000株	5年9月期	5,391,000株
② 期末自己株式数	6年9月期1Q	77株	5年9月期	76株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	6年9月期1Q	5,390,923株	5年9月期1Q	5,390,972株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P.3「1.当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、個人消費や設備投資、インバウンド需要の回復持続など、緩やかな景気の持ち直しが続きましたが、当社の主たるマーケットである住宅建設市場は、建設資材の高騰などの影響で新設住宅着工件数は緩やかな減少となりました。また、解決の兆しが見えないウクライナや中東地域の情勢、台湾海峡の緊張等の地政学リスクの高まり、国際的なサプライチェーンの停滞、資源価格の高騰、生産資材の仕入れ納期長期化等、不安定な状況が続いております。

そうした経営環境の中、当社におきましては、売上高はインダストリーセグメントが好調に推移して全社を牽引する一方で、プロフェッショナルセグメントとりわけ畳事業が伸び悩みました。この結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高2,201百万円（前年同期比1.7%増）となり、損益面は、売上高が低調であったことに加えて、期初（令和5年10月1日）に実施した商号変更関連の費用が発生したこと等により、営業損失33百万円（前年同四半期は営業利益25百万円）、経常損失37百万円（前年同四半期は経常利益20百万円）、親会社株主に帰属する四半期純損失35百万円（前年同四半期は親会社株主に帰属する四半期純利益1百万円）となりました。

セグメント別の経営成績は以下のとおりであります。

①プロフェッショナルセグメント

インテリア事業は、リアルの大規模展示会の復活や新商品の発売などの施策の展開で売上高は概ね堅調に推移し、令和5年12月に発売した新型自動壁紙糊付機の販売も順調ですが、損益面では、商号変更費用や新製品の製造用資産の償却等の発生が重石となったのに加え、原材料や商品仕入価格の上昇も損益に影響を及ぼしました。畳事業は、前期終盤から開始した畳店向けの工具等のネット販売や、リモート営業方式の推進など活発な営業活動を続けましたが、「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」（中小企業庁）及び「事業再構築補助金」（中小企業庁）採択案件の交付時期の影響や採択件数の減少等から売上高・損益ともに低調な推移となりました。その結果、プロフェッショナルセグメントの売上高は1,573百万円（前年同期比0.9%減）、営業損失68百万円（前年同四半期は営業利益24百万円）となりました。

②コンシューマセグメント

コンシューマ事業は、フィットネスクラブ向け防音・防振床材が好調を維持しましたが、棺用畳や住宅向けの畳替え需要は依然として回復の途上です。ソーラー・エネルギー事業は、中規模以上の案件開拓が低調でした。一方、兵庫県佐用町に設置しているメガソーラー発電所「三日月サンシャインパーク」をはじめとする売電事業は、順調に稼働しました。その結果、コンシューマセグメントの売上高は196百万円（前年同期比1.1%減）、営業損失1百万円（前年同四半期は営業損失2百万円）となりました。

③インダストリーセグメント

産業機器事業は、大企業の設備投資の拡大を受けて、前期に引き続き主要製品である二次電池製造装置のリピート受注が好調に推移したほか、その他生産設備案件の引き合いも活発です。食品機器事業につきましても、大手飲食チェーンからのマルチディスペンサーの引き合いが徐々に回復しております。その結果、インダストリーセグメントの売上高は310百万円（前年同期比3.4%増）、営業利益31百万円（前年同期比14.4%増）となりました。

④ニュー・インダストリーセグメント

令和2年10月1日に子会社化した株式会社ROSECCを当セグメントに位置付け、得意とする自動車関連業界に加えて、住宅設備関連業界の開拓を進めております。当第1四半期連結累計期間では、前期後半から引き続いて自動車関連業界の顧客からの消耗品受注が順調に推移しております。その結果、ニュー・インダストリーセグメントの売上高は120百万円（前年同期比57.0%増）となり、営業利益は5百万円（前年同四半期は営業損失23百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産の部

当第1四半期連結会計期間末の資産につきましては、前連結会計年度末に比べ533百万円減少し、10,041百万円となりました。資産のうち、流動資産は、棚卸資産が152百万円増加しましたが、売上債権が508百万円減少、現金及び預金が173百万円減少したこと等により、514百万円の減少となりました。固定資産につきましては、投資その他の資産が18百万円増加しましたが、有形固定資産が31百万円減少したこと等により、19百万円の減少となりました。

②負債の部

当第1四半期連結会計期間末の負債につきましては、前連結会計年度末に比べ448百万円減少し、7,212百万円となりました。負債のうち、流動負債は、その他(未払消費税等)が118百万円減少、賞与引当金が106百万円減少、支払手形及び買掛金が63百万円減少、未払法人税等が63百万円減少したこと等により、401百万円の減少となりました。固定負債につきましては、主に長期借入金が61百万円減少したことにより、46百万円の減少となりました。

③純資産の部

当第1四半期連結会計期間末の純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ85百万円減少し、2,829百万円となりました。これは、主に利益剰余金が89百万円減少したことによるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想については、令和5年11月15日の「令和5年9月期 決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,195,211	1,021,962
受取手形、売掛金及び契約資産	2,237,606	1,519,887
電子記録債権	1,072,190	1,281,879
商品及び製品	842,871	963,069
仕掛品	208,065	240,406
原材料及び貯蔵品	403,755	403,305
その他	159,960	174,481
貸倒引当金	△212	△110
流動資産合計	6,119,449	5,604,881
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,748,318	1,730,994
土地	1,415,008	1,415,008
その他（純額）	667,851	653,470
有形固定資産合計	3,831,177	3,799,473
無形固定資産		
その他	83,342	76,992
無形固定資産合計	83,342	76,992
投資その他の資産		
その他	543,482	561,265
貸倒引当金	△1,699	△846
投資その他の資産合計	541,783	560,419
固定資産合計	4,456,302	4,436,884
資産合計	10,575,752	10,041,766
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	796,120	732,741
電子記録債務	1,160,290	1,126,189
短期借入金	1,900,000	1,900,000
1年内返済予定の長期借入金	244,458	244,458
未払法人税等	71,660	7,895
製品保証引当金	5,822	5,982
賞与引当金	163,200	56,760
役員賞与引当金	11,000	2,200
その他	501,649	376,739
流動負債合計	4,854,202	4,452,967
固定負債		
長期借入金	2,169,587	2,108,473
役員退職慰労引当金	273,300	289,000
退職給付に係る負債	312,337	313,640
その他	51,136	48,369
固定負債合計	2,806,362	2,759,482
負債合計	7,660,564	7,212,449

(単位：千円)

	前連結会計年度 (令和5年9月30日)	当第1四半期連結会計期間 (令和5年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	631,112	631,112
資本剰余金	481,062	481,062
利益剰余金	1,817,741	1,728,124
自己株式	△48	△49
株主資本合計	2,929,867	2,840,250
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	8,675	10,943
退職給付に係る調整累計額	△23,354	△21,878
その他の包括利益累計額合計	△14,679	△10,934
純資産合計	2,915,188	2,829,316
負債純資産合計	10,575,752	10,041,766

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
売上高	2,164,548	2,201,641
売上原価	1,479,441	1,528,655
売上総利益	685,107	672,986
販売費及び一般管理費	659,833	706,361
営業利益又は営業損失(△)	25,273	△33,375
営業外収益		
受取利息	316	77
受取配当金	215	212
受取保険金	—	1,851
スクラップ売却益	458	1,018
その他	2,124	1,817
営業外収益合計	3,115	4,978
営業外費用		
支払利息	6,110	6,470
支払手数料	1,253	1,104
その他	889	1,891
営業外費用合計	8,253	9,466
経常利益又は経常損失(△)	20,135	△37,863
特別損失		
固定資産除却損	—	3,214
特別損失合計	—	3,214
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	20,135	△41,077
法人税、住民税及び事業税	3,932	3,404
法人税等調整額	14,973	△8,775
法人税等合計	18,905	△5,370
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,230	△35,707
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	1,230	△35,707

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	1,230	△35,707
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,144	2,268
退職給付に係る調整額	1,900	1,476
その他の包括利益合計	3,044	3,744
四半期包括利益	4,274	△31,962
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,274	△31,962
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

I 前第1四半期連結累計期間(自 令和4年10月1日 至 令和4年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	499,299	146,827	294,706	35,981	976,815
商品	1,071,576	40,161	1,489	28,012	1,141,240
その他	17,535	11,843	4,249	12,864	46,492
顧客との契約から生じる収益	1,588,411	198,833	300,446	76,858	2,164,548
その他の収益	-	-	-	-	-
外部顧客への売上高	1,588,411	198,833	300,446	76,858	2,164,548
計	1,588,411	198,833	300,446	76,858	2,164,548
セグメント利益又は損失(△)	24,311	△2,685	27,225	△23,576	25,275

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	25,275
セグメント間取引消去	△1
四半期連結損益計算書の営業利益	25,273

Ⅱ 当第1四半期連結累計期間(自 令和5年10月1日 至 令和5年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位:千円)

	報告セグメント				合計
	プロフェッショナル	コンシューマ	インダストリー	ニュー・インダストリー	
売上高					
製品	417,988	127,685	299,522	63,504	908,700
商品	1,136,202	56,866	4,593	43,260	1,240,921
その他	19,362	12,088	6,684	13,883	52,018
顧客との契約から生じる収益	1,573,552	196,640	310,800	120,648	2,201,641
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	1,573,552	196,640	310,800	120,648	2,201,641
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	55	—	55
計	1,573,552	196,640	310,855	120,648	2,201,696
セグメント利益又は損失(△)	△68,499	△1,874	31,155	5,843	△33,375

(注) セグメント利益又は損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。